

令和3年度 認知症初期集中支援チーム 活動報告

(R4年2月28日現在)

	No.	性別	年齢	初回 相談者	相談経路	支援開始	支援終了	診断名	対応結果
令和3 年度の 新規事例	1	男	77	家族	地域包括 支援セン ター	R3年4月	R3年10月	認知症	認知症の診断を受けて内服治療を継続していたが、進行に伴い周辺症状（興奮、易怒性など）が顕著となり、家族の介護負担が増大。チームの支援により、介護サービスの利用につながることで、利用状況が安定したため、チームの支援を終了。
	2	女	84	家族	地域包括 支援セン ター	R3年5月	R4年1月	認知症	家族の負担感が強く、専門医への受診と介護サービス利用に向けてチームの支援を開始。専門医を受診し、内服治療を開始。介護サービスは見学をするも利用には至らず。家族も本人の状況を受入れられ、現時点では介護サービス利用は難しいとの判断された。家族の相談先として必要時に連絡を受けることとし、チーム支援は終了。
	3	女	78	家族	地域包括 支援セン ター	R3年5月	R4年1月	—	数年前より妄想等の症状がみられるが、医療機関受診や介護サービス利用には拒否感が強く、家族の負担感が増大し、チーム支援開始となる。医療機関受診につながることでしたが、介護サービス利用は拒否感強く困難。家族も現時点では、これ以上積極的に利用を勧める必要はないとの判断のため、チームによる支援を終了し、担当包括にて支援継続する。
	4	女	74	家族	地域包括 支援セン ター	R3年6月	R4年1月	—	妄想・幻覚の症状あり。数年前に介護サービス利用を開始するも、本人拒否のため中止となった。今回、家族の負担感が増大し、再相談あり。本人の困り感は全くなく、専門医受診等は拒否される。介護サービス導入も困難。精神症状顕著だが認知機能低下の症状は顕著に認めない状態。家族が地域の社会資源とつながるよう支援し、相談先が確保できたことで、現状を受け入れて生活できそうと。チームによる支援を終了し、担当包括にて支援を継続。
	5	女	82	本人	地域包括 支援セン ター	R3年8月		—	担当包括が、本人より問合せを受けて支援開始。認知症の初期症状がみられ、チームに支援依頼あり。介護サービス利用に向けて支援中。

令和3年度 認知症初期集中支援チーム 活動報告

(R4年2月28日現在)

	No.	性別	年齢	初回 相談者	相談経路	支援開始	支援終了	診断名	対応結果
令和3 年度の 新規事例	6	男	74	家族	地域包括 支援セン ター	R3年10月		認知症	家族より相談あり。認知症の初期症状みられる。医療 機関受診・介護サービスともに未利用。 チーム支援により専門医受診し、診断を受けることが できた。介護サービス利用に向けて支援継続中。
	7	女	88	民生委員	地域包括 支援セン ター	R3年12月			もの忘れ、物盗られ妄想の症状あり。専門医受診、介 護サービス利用に向けて支援中。
	8	女	74	家族	家族	R3年12月			認知症の初期症状がみられるが、専門医受診等を勧め ても本人の拒否感が強く、家族の負担感が増大 し、相談あり。専門医受診、介護サービス利用に向け て支援中。
	9	男	83	家族	地域包括 支援セン ター	R3年12月	R4年1月	認知症	認知症の診断を受けているが治療を継続しておら ず。医療・介護ともに利用を拒否。周辺症状が強くな り、家族の負担感が増大。チーム支援開始したが、本 人の希望もあり、施設入所となったために支援を終 了。
	10	女	83	民生委員	地域包括 支援セン ター	R3年12月			医療機関未受診、介護サービス未利用。金銭管理が 困難な状況となっており、担当包括と協力して支援 中。
	11	女	74	家族	地域包括 支援セン ター	R4年1月		認知症	認知症の診断を受けているが、介護サービスは利用 拒否。家族が対応の困難さを感じており、生活状況を 確認しながら、必要なサービス利用ができるように支 援中。
	12	男	75	本人	地域包括 支援セン ター	R4年1月			家族の認知症について相談をされるが、本人の様子 も気がかりな点がある。生活状況の確認をしながら、 医療機関の受診や、必要なサービス利用に向けて支 援中。
	13	女	79	薬局	地域包括 支援セン ター	R4年2月			薬局より利用者のごことで担当包括に相談あり。認知 症を疑う様子があるため、チームにより状況確認、必要 な支援を開始。